

平成 30 年 度

南 伊 豆 町 水 道 事 業 会 計

補 正 予 算 (第 1 号)

南 伊 豆 町

議第96号

平成30年度 南伊豆町水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 平成30年度南伊豆町水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 平成30年度南伊豆町水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		支	出	
（科目）		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
第1款	水道事業費用	320,415 千円	3,365 千円	323,780 千円
第1項	営業費用	297,802 千円	3,000 千円	300,802 千円
第2項	営業外費用	21,613 千円	365 千円	21,978 千円

平成 30 年 12 月 5 日 提出

賀茂郡南伊豆町長 岡部 克仁

平成30年度 南伊豆町水道事業会計補正予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 水道事業費用			320,415	3,365	323,780	
	1 営業費用		297,802	3,000	300,802	
		1 原水浄水送水 配水給水費	68,669	3,000	71,669	
	2 営業外費用		21,613	365	21,978	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費	18,563	365	18,928	

平成30年度予定キャッシュフロー計算書

水道事業会計 間接法 通期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）
（単位：千円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△1,160
減価償却費	136,829
貸倒引当金の増減額（△は減少）	224
賞与等引当金の増減額（△は減少）	646
長期前受金戻入額	△37,684
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	18,928
有形固定資産除却費	2,050
未収金の増減額（△は増加）	4,587
未払金の増減額（△は減少）	△47,375
たな卸資産の増減額（△は増加）	△45
預り金の増減額（△は減少）	0
小計	76,997
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△18,928
業務活動によるキャッシュ・フロー	58,072
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△173,211
有形固定資産の売却による収入	0
補助金等による収入	21,537
負担金等による収入	39,500
一般会計出資金による収入	2,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,168
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	43,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△66,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,468
資金増加額（又は減少額）	△75,564
資金期首残高	176,003
資金期末残高	100,439

平成30年度 南伊豆町水道事業会計予定損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：千円)

1 営 業 収 益			
(1) 給 水 収 益	227,371		
(2) 受 託 工 事 収 益	0		
(3) そ の 他 営 業 収 益	<u>6,444</u>	233,815	
2 営 業 費 用			
(1) 原水浄水送水配水給水費	66,619		
(2) 受 託 工 事 費	386		
(3) 総 係 費	83,692		
(4) 簡 易 水 道 等 費	0		
(5) 減 価 償 却 費	136,829		
(6) 資 産 減 耗 費	2,055		
(7) そ の 他 営 業 費 用	<u>60</u>	<u>289,641</u>	
営 業 利 益			△ 55,826
3 営 業 外 収 益			
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	3		
(2) 雑 収 益	312		
(3) 他 会 計 補 助 金	41,089		
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	<u>37,684</u>	79,088	
4 営 業 外 費 用			
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	18,928		
(2) 雑 支 出	<u>4,568</u>	23,496	55,592
5 予 備 費			
(1) 予 備 費	<u>926</u>	<u>926</u>	<u>△926</u>
経 常 損 失			1,160
経 常 利 益			△1,160
6 特 別 損 失			
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
当 年 度 純 利 益			△1,160
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金			14,083
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額			<u>0</u>
当 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金			<u><u>12,923</u></u>

平成30年度 南伊豆町水道事業会計予定貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地 88,364

ロ 建 物 181,105

減 価 償 却 累 計 額 △ 102,120 78,985

ハ 構 築 物 4,812,859

減 価 償 却 累 計 額 △ 1,827,668 2,985,191

ニ 機 械 及 び 装 置 1,411,003

減 価 償 却 累 計 額 △ 1,028,280 382,723

ホ 車 輛 運 搬 具 1,162

減 価 償 却 累 計 額 △ 1,104 58

ヘ 工 具 器 具 備 品 12,557

減 価 償 却 累 計 額 △ 11,977 580

ト 建 設 仮 勘 定 35,285

有形固定資産合計 3,571,186

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 水 利 権 3,060

ロ 電 話 加 入 権 473

ハ その他無形固定資産 32

無形固定資産合計 3,565

固定資産合計 3,574,751

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金 100,439

(2) 未 収 金

イ 上水道給水未収金 21,188

ロ 簡易水道給水未収金 40

ハ その他営業未収金 0

ニ 未収消費税還付金 947 22,175

(3) 未 収 貸 倒 引 当 金

イ 上水道貸倒引当金 △ 368

ロ 簡易水道貸倒引当金 0 △ 368 21,807

(4) 貯 蔵 品 102

流動資産合計 122,348

資 産 合 計 3,697,099

負 債 の 部

3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債		1,050,523	
固定負債合計			1,050,523
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債		71,546	
(2) 未 払 金		27,864	
(3) 引 当 金		1,508	
(4) その他流動負債		<u>654</u>	
流動負債合計			101,572
5 繰 延 収 益			
(1) 長期前受金			
イ 国 県 補 助 金	619,793		
収益化累計額	<u>△ 229,488</u>	390,305	
ロ 受 贈 財 産 評 価 額	254,664		
収益化累計額	<u>△ 164,161</u>	90,503	
ハ 工 事 負 担 金	662,704		
収益化累計額	<u>△ 329,130</u>	333,574	
ニ 他 会 計 補 助 金	217,403		
収益化累計額	<u>△ 42,365</u>	175,038	
ホ その他資本剰余金			
収益化累計額		<u>0</u>	
長期前受金合計			<u>989,420</u>
負債合計			<u>2,141,515</u>

資 本 の 部

6 資 本 金			
(1) 自 己 資 本 金		<u>1,531,698</u>	
資本金合計			1,531,698
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受 贈 財 産 評 価 額	3,407		
ロ その他資本剰余金	<u>7,556</u>		
資本剰余金合計		10,963	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 当 年 度 未 処 分 利 益			
剰 余 金	<u>12,923</u>		
利益剰余金合計		<u>12,923</u>	
剰余金合計			<u>23,886</u>
資本合計			<u>1,555,584</u>
負債資本合計			<u>3,697,099</u>

重要な会計方針及び財務諸表注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

(1) 資産の評価基準及び評価方法

イ たな卸資産(貯蔵品)

先入先出法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

定額法

主な耐用年数

建物	10年～50年
構築物	10年～60年
機械及び装置	8年～20年
車両運搬具	3年～5年
器具工具及び備品	3年～15年

ロ 無形固定資産

定額法

主な耐用年数

水利権	20年
ソフトウェア	5年

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

退職手当組合に加入しており、当該組合に負担金を拠出し積立金の不足等に
応じて発生する追加的な費用は、一般会計において措置するため計上しない。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見
込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

ハ 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度
末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

ニ 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込
額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

間接法による。

(1) 重要な非資金取引

イ 現物出資の受入による資産の取得

該当事項無し。

ロ 資産の交換

該当事項無し。

ハ ファイナンス・リース取引による資産の取得

該当事項無し。

ニ P F I 契約等による資産の取得

該当事項無し。

3 予定貸借対照表等に関する注記

(1) 資産が担保に提供されている場合

該当事項無し。

(2) 企業債の償還に要する資金の全部または一部を、一般会計または他の特別会計において負担している場合、貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還のものを含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は2,006,992円である。

(3) 保証債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他これらに準ずる債務

該当事項無し。

4 セグメント情報に関する注記

報告セグメントが1つのため、記載を省略している。

5 減損損失に関する注記

(1) 減損の兆候について

イ 固定資産のグループ化の方法

水道事業に使用している固定資産については、すべての固定資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を1つの固定資産グループとしている。

ロ 認められた減損の兆候の概要

減損の兆候は認められなかった。

ハ 減損損失を認識するに至らなかった理由

該当事項無し。

6 リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当事項無し。

7 重要な後発事象に関する注記

該当事項無し。

8 その他の注記

(1) 引当金の取崩しについて

イ 退職給付引当金

該当事項無し。

ロ 賞与引当金

当年度において、期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金820,000円を取り崩す予定である。

ハ 法定福利費引当金

当年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、法定福利引当金42,000円を取り崩す予定である。

ニ 貸倒引当金

当年度において、不能欠損による損失を計上するため、貸倒引当金50,000円を取り崩す予定である。

(2) みなし償却制度の廃止に伴う経過について

平成26年3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額のうち、該当資産との対応関係の把握が不可能であったものについては、現存する資産（補助金等が充当されていないことが明らかな資産を除く。）を対象とし、補助金充当率を用いた按分により整理している。

参考資料

平成 30 年 度

南伊豆町水道事業会計

補正予算（第 1 号）内訳書

平成30年度 南伊豆町水道事業会計補正予算内訳書
収益的收入及び支出

支 出

款・項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 水道事業費用		320,415	3,365	323,780
1 営業費用		297,802	3,000	300,802
	1 原水浄水送水 配水給水費	68,669	3,000	71,669
2 営業外費用		21,613	365	21,978
	1 支払利息及び 企業債取扱諸費	18,563	365	18,928

(単位：千円)

明		細	
節	金額	附	記
14 修繕費	3,000		
33 企業債利息	365		